

第61回 水工学に関する夏期研修会

本研修会は土木
学会のCPD(継続
教育)プログラム
に申請中

主催：公益社団法人 土木学会

期日：対面：2026年8月27日(木)～8月28日(金)(A, Bコース並行開催)

場所：金沢大学角間キャンパス自然科学本館・大講義棟(対面+録画によるオンデマンド)

Aコース(河川・水文)、Bコース(海岸・港湾)

テーマ：頻発・激甚化する流域・沿岸災害に関する調査・解析と防災を考える

■ 8月27日(木)

時間	Aコース(河川・水文)	Bコース(海岸・港湾)
9:00～ 10:30	佐山敬洋(京都大学)：水災害予測を目的とした降雨流出・洪水氾濫の統合解析	
10:45～ 12:15	知花武佳(政策研究大学院大学)：流域の特徴を俯瞰した流域治水に向けて	
13:15～ 14:45	柏田仁(東京理科大学)：Social Sensingによる激甚水害時の氾濫流動実態解明～あらゆる関係者の協働によるモニタリングの萌芽～	嶋原良典(防衛大学校)：非地震性津波ハザード評価の現状と課題～海底地すべり津波の解析から実務への適用まで～
15:00～ 16:30	武田誠(中部大学)：都市域における浸水過程と車両および人の動きの数値解析	高川智博(港湾空港技術研究所)：アジョイント津波解析

■ 8月28日(金)

時間	Aコース(河川・水文)	Bコース(海岸・港湾)
9:00～ 10:30	越村俊一(東北大学)：海岸・海洋デジタルツインの開発と展望	
10:45～ 12:15	豊田将也(豊橋技術科学大学)：高潮・洪水による複合災害解析とその適用例	
13:15～ 14:45	呉修一(富山県立大学)：流域治水の現状と課題～コンパクトシティや都市計画との融合に向けて～	二宮順一(金沢大学)：爆弾低気圧による沿岸災害とその将来変化予測
15:00～ 16:30	久田嘉章(工学院大学)：土木・建築連携による水害・土砂災害対策の取り組み	中條壮大(大阪公立大学)：多数の台風シナリオを用いた災害リスク評価に関する課題と試み

備考：両日とも講師との交流会(昼食 経費別途必要)を開催予定。申込後別途連絡。

受講料：現地 一般 16,000円, 学生・院生 10,000円

オンデマンド 一般 18,000円, 学生・院生 12,000円

申込方法：土木学会 HP(<https://www.jsce.or.jp/events/form/>)の末尾に以下の数字を入力ください。

Aコース：(対面)23260**, (オンデマンド)23260**

Bコース：(対面)23260**, (オンデマンド)23260**

問合せ：土木学会研究事業課 TEL：03-3355-3559(担当：杉野詞音)

詳細情報(夏期研修会ホームページ)：https://committees.jsce.or.jp/hydraulic/node/**/